

# 気にいらない鉛筆

小川未明

青空文庫



次郎さんはかばんを下げて、時計を見上げながら、

「おお、もうおそくなつた。はやく、そういつてくれればいいのに、なあ。」と、お母さんや女中に小言をいいました。

「毎朝、ゆけと注意されなくても、自分で気をつけるものですよ。」と、お母さんは、おつしやつたきり、なんともいわれませんでした。

すると、次郎さんは、ぶつぶついつていましたが、

「きよ、僕が学校から帰ってくるまでに、これと同じ鉛筆を買っておいてくれね。」  
 といいながら、かばんの中の鉛筆を出して、ちよつと見せて、銭をそこへ投げ出しました。

「自分のことは、自分でなさい。」と、お母さんが、おつしやつたけれど、次郎さんは、ききませんでした。

「きよ、買っておくんだよ。」と、次郎さんは、念を押しました。

「坊ちゃん、どこに売っているのぞぎいますか。」

この春、田舎から出てきたばかりの、女中のきよは、たまげたように、赤いほおを

してたずねました。

「本屋にもあれば、角の文房具屋にだってあるだろう。」

次郎さんは、そういうとあわててくつをはいて、

「いつてまいります。」といつて、かけ出していつてしまいました。

「自分のことは、自分でするものだといつてもきかないのだから、かまわんでおいとくといひよ。」と、お母さんは、おつしやいましたけれど、きよは、仕事ですむと、鉛筆を買いにいつてまいりました。

午後になると、妹の光子さんが、先に歸つてきました。それからまもなく、次郎さんのくつ音がして、元氣よく、

「ただいま。」といつて、歸つてきました。ちやうど、お母さんは外出なされてお留守でありました。次郎さんは、机が上にあつた鉛筆をとりあげて見ていましたが、

「僕のいったのと、ちがつてゐるけれど、よく書けるかしらん。」

こういつて、小刀で鉛筆を削りはじめました。しんが、やわらかいとみえて、じきに折れてしまうのです。

「こんな鉛筆で、なにが書けるもんか。」

次郎さんは、かんしやくを起こして、女中を呼びました。

「きよ、なんでこんな鉛筆を買ってきたんだい。やわらかくて、書けないじゃないか。ちがつているから返しておいでよ。」と、鉛筆を投げつけて無理をいいました。

次郎さんが、怒って出ていった後で、きよは、どうしていいかわからないので、鉛筆を手にとって、お勝手もとで泣いていました。こんなときは、田舎が思い出されて、どんなに、自分の家が恋しかったかしれません。

いまごろ、麦の青々とした圃では、ひばりがさえずっているだろう。また、野路へゆくと白い野ばらの花が咲いて、ぶんぶん香っていることなどが、しみじみと考え出されて、いつそうふるさとなつかしかったのです。

「どうしたの？」と、このとき、光子さんがきてやさしくたずねてくださいました。

きよは、泣いたりして恥ずかしいと思ったので、前垂れで、涙をふきました。

「私が、まちがつて、ちがつた鉛筆を買ってきましたので、もうしわけありません。」  
 といいました。

「どうして、この鉛筆がいけないの。」と、光子さんはききました。

「やわらかくて、折れるのです。」と、きよは、悲しそうに答えました。

「兄さんが、わるいんだわ。」

「いいえ、私が、わるかったのでございます……。」と、きよは、うつむきました。

「自分のことは、自分でせいと、いつもお母さんがおつしやつているのですもの。」と、光子さんはいつて、走つて、自分の筆入れの中から、新しい鉛筆を持つてきました。

「これを兄さんにあげるといいわ。私、やわらかいのをもらつておくから。」と、きよに、鉛筆を渡しました。きよは、ほんとうに、うれしく思いました。

「きよの田舎には、やまゆりがたくさん咲くの？」

「山へゆくと、たくさんございます。」

「うちの花壇のが、咲いたからいつてみましょうよ。」と、光子さんは、きよをつれて、お庭へ出ました。

やまゆりの花が、脊高く、みごとに開きました。きんせんかや、けしの花も、美しく咲いていました。きよは、やさしいお嬢さんのことを、国の妹に書いて送る中へと思つて、散つた、真つ赤なけしの花弁を拾つたのであります。

風に葉が光つて、ひらひらとちようちようが飛んでいました。







# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第6刷発行

※表題は底本では、「気《き》にいらぬ鉛筆《えんぴつ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：仙酔ゑびす

2012年2月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 気にいらない鉛筆

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>